

種類	表紙	書名	著者	出版社	出版年	おすすめポイント、コメント(加筆修正済み)	票数
絵本		あかあおきいろ	グザビエ・ドゥヌ／作	小学館	2014	色鮮やかで大好き。でこぼこしているのが、さわっても楽しい。	
絵本		あしたもともだち	内田麟太郎／作 降矢なな／絵	偕成社	2000	おおかみとキツネが仲直りをしてまた一緒に遊ぶようになったところが好き。	
絵本		あしによきによき	深見 春夫／作・絵	岩崎書店	1980	美食家のおじさんが、大好きなそら豆を食べると、なぜか足が大きくなって伸びていくお話。保育園の時に読んで個性的な話だったので、すごく記憶に残っています。	
絵本		あらいくとフタのぶたごころさん (現在流通していません)	たかやま えいこ／作 つちだ よしはる／絵	金の星社	2004	ぶたごころさんは、自分のことははっきり言えるところがすごいと思った。こんな人になりたいな。	
絵本		アンパンマンとメリークリスマス！	やなせたかし／さく・え	フレーベル館	1998	アンパンマンがサンタになって、空を飛んでいくところがおすすめ。	
絵本		いいからいいから	長谷川 義史／作	絵本館	2006	おじいちゃんが出てくるから好き。	
絵本		いかすぜ！ブブヒコ	中川 ひろたか／作 大島 妙子／絵	文溪堂	2013	最後にブブヒコが大きい犬にぶつぶつ文句を言うところがよかった。	
絵本		いちにちぶんぼうぐ	ふくべあきひろ／さく かわしまなえ／え	PHP研究所	2010	主人公の男の子が色々な文房具に変身して、はたらけけれども、うまくいかないところが面白い。	2
絵本		うずらちゃんのかくれんぼ	きもと ももこ／さく	福音館書店	1994	うずらちゃん、ひよこちゃんが変わりばんこに「どこにかくれたのかな」と言いながら、かくれんぼをする様子が、くりかえされるところが楽しい。最後にお母さんが迎えにきてくれるところが大好き。	
絵本		おうさまババール	ジャン・ブリュノフ／作 やがわすみこ／訳	評論社	1988	てんしとあくまがたいせんするところがいちばんよいところです。おもしろかったところは、ゼフィールがクリームの中につこんだところです。ぜひ見てください。	
絵本		おーいおひさま！	よこた きよし／作 西村 敏雄／絵	ひさかたチャイルド	2013	おひさまを怒らせたところ。	
絵本		おかあさんのパンツ	山岡 ひかる／作	絵本館	2005	パンツがおっきくなっちゃうところがおもしろかったです。	
絵本		おかめ列車嫁にいく	いぬんこ／さく	長崎出版	2012	絵がおもしろい。	
絵本		「おさるのジョージ」シリーズ (おさるのジョージききゅうにのる)	M.レイ／原作 H.A.レイ／原作	岩波書店	1999	ジョージが素直な心なので、読んでいて楽しく、日常の不思議も子どもには楽しく読める。	
絵本		おしれのぼうけん	ふるた たるひ／さく たばた せいいち／[画]	童心社	1980	おもしろい。特に、ねずみばあさんがおもしろかったです。	
絵本		おちばいちば	西原 みのり／作	ブロンズ新社	2011	かわいらしい挿絵が魅力。さまざまな虫たちや木の葉や木の実が鮮やかな色で描かれている。	

種類	表紙	書名	著者	出版社	出版年	おすすめポイント、コメント(加筆修正済み)	票数
絵本		おばあさんのねこになったねこ	岡本 一郎 / 作 いもと ようこ / 絵	金の星社	1997	なんともほっこりする終わりに、思わず涙が出そうになりました。出てくる人物になりきって読み聞かせると、子どもが喜んで聞いてくれます。	
絵本		おばけパーティ	ジャック・デュケノワ / さく おおさわあきら / やく	ほるぶ出版	1995	3才の子は絵がおもしろいと楽しんでます。	
絵本		かぼくん	岸田 裕子 / 作 中谷千代子 / 画	福音館書店	1979	「おーいおーい、かぼくん」と歌いながらよむと、子供がおふろ大好きになってくれる。	
絵本		からすのおかしやさん	かこ さとし / 作・絵	偕成社	2013	おいしそうなお菓子がたくさん出てくる場所。	
絵本		きつねのでんわボックス	戸田 和代 / 作 たかす かずみ / 絵	金の星社	2006	山奥に住んでいるこぎつね親子のあたたかい物語。小さいときから読んでいて、1回読んだら何回も読みたくなる絵本。	
絵本		きゅうりゅうとあそんだジュンくん	小野寺 悦子 / 作 宮崎 耕平 / 絵	教育画劇	1999	きゅうりゅうがすきなので、いろいろ出てくる場所がうれしい。	
絵本		きんぎょがにげた(大型絵本)	五味太郎 / 作	福音館書店	2009	2才になる息子が大型ならででは、「きんぎょ」を探すのが楽しらしく、繰り返し見えています。他のイラストも指差しては喜んで名前を言っています。一人でも一緒に楽しめます。	
絵本		「くまのがっこう」シリーズ (くまのがっこう)	あだち なみ / 絵 あいはら ひろゆき / 文	ブロンズ新社	2002~	みんなが遊んでるところ。とってもおもしろい。	
絵本		「ぐりとぐら」シリーズ (ぐりとぐらとすみれちゃん)	なががわ りえこ / 文 やまわき ゆりこ / 絵	福音館書店	1967~		
絵本		ぐりとぐら	中川 李枝子 / さく 大村 百合子 / え	福音館書店	1980	大きなたまごがすごかった。ぐりとぐらが森で料理をしていると、料理のおいにつられて動物がやってきて、みんなで仲良く楽しく食べていたのが楽しそうだった。最後にはたまごの車を車にして帰っているところ、からでできているのに、車になるのがすごかった。卵の殻で家まで帰るところがおもしろい。	2
絵本		ぐりとぐらのうたうた12つき	なががわ りえこ / 文 やまわき ゆりこ / 絵	福音館書店	2003	ぐりとぐらがかわいい。	
絵本		ごあいさつなあに	はた こうしろう / さく・え	ポプラ社	2013	かわいいクマの絵で、日々生活していく中でのあいさつや、遊ぶ中での「かして」などの声掛けが楽しく覚えられ本。小さい子どもにこういう場面では、こう言うんだよと楽しく教えやすい本で、おすすめ。	
絵本		ごらくももんちゃん	とよた かずひこ / さく・え	童心社	2004	みんなで仲良く温泉に入っているところがおもしろい。	
絵本		こびとづかん	なばたとしたか / さく	長崎出版	2006	いろいろなこびとがでてきておもしろい。	3
絵本		コロちゃんはどこ？	エリック・ヒル / 作	評論社	1983	1歳の子でも、自分でめくって色々な動物が出てくるのがおもしろいようで、大喜びする。	
絵本		3びきのこぶた	福川 祐司 / 文	講談社	2011	3びきのこぶたが家を建てたり、おおかみにおそわれたりするお話。	

種類	表紙	書名	著者	出版社	出版年	おすすめポイント、コメント(加筆修正済み)	票数
絵本		ジャッキーのクリスマス	あだちなみ／絵 あいほらひろゆき／文	ブロンズ新社	2012	くまたちがまず雪の中において部屋についたら、歌をうたいだしたり、おじいさんにケーキをもらったりします。そのおじいさんがサンタからだよというところがクリスマスほくておもしろかった。	
絵本		ジャッキーのたからもの	あだちなみ／絵 あいほらひろゆき／文	ブロンズ新社	2009	12ばんめのジャッキーがくしんぼうだから太っていると思った。	
絵本		14ひきのびくにつく	いわむらかずお／さく	童心社	1986	ピクニックでおでかけしたところがおもしろかった。	
絵本		スイミー	レオ・レオニ／作 谷川俊太郎／訳	好学社	1979	小さい魚たちがみんな集まって、大きな赤い魚に変身して、黒い魚をやっつけたところがよかったです。とても感動的なお話。	
絵本		スーホの白い馬	大塚 勇三／再話 赤羽 末吉／画	福音館書店	1980	おすすめのシーンは、白い馬が傷だらけになりながらスーホのもとに逃げ帰ってくるころ。子どもの頃に何回も読んでそのたびに涙を流した最高の本。	
絵本		千と千尋の神隠し	宮崎 駿／原作・脚本・監督	徳間書店	2001	ハクが竜になるところが好き。	
絵本		そらいろのたね	なかがわ りえこ／文 おおむら ゆりこ／絵	福音館書店	1979	きつねがひっくりかえるところや、そらいろのいえがどんどん大きくなるのが楽しい。"ぐり"と"ぐら"が遊びにきているところをみつけるのがうれしい。	
絵本		そらまめくんのベッド	なかや みわ／さく・え	福音館書店	1999	この本は、私が小学校低学年のころによく読んでいた本で、とってもいい本だと思う。	
絵本		それならいいえありますよ	澤野秋文／作	講談社	2013	ちゃまるがかわいい。	
絵本		「旅の絵本」シリーズ (旅の絵本 1)	安野光雅	福音館書店	1980～		
絵本		だるまさんが	かがくい ひろし／さく	ブロンズ新社	2008	リズムカルに読んであげると、とても喜んで聞いてくれました。	
絵本		だるまさんと	かがくい ひろし／さく	ブロンズ新社	2009	だるまさんとめろんさんが「ぎゅっ」とするところが好き。「だるまさん」シリーズはどれも気に入っている。	
絵本		ダンボ		講談社	2010	お母さんに会えてよかった。いい話だよ。	
絵本		チムとゆうかんなせんちょうさん	エドワード・アーディゾーニ／ぶ ん・え せた ていじ／やく	福音館書店	1980	「チム」シリーズは私の大好きな本。チムといっしょに船乗りになって冒険している気分になる。	
絵本		デイビッドがやっちゃった!	デイビッド・シャノン／作 小川仁央／訳	評論社	2004	いたづらをするところがおもしろかったです。	
絵本		でこちゃん	つちだのぶこ／さく・え	PHP研究所	2000	でこちゃんが初めに髪をきったところがおもしろい。	

種類	表紙	書名	著者	出版社	出版年	おすすめポイント、コメント(加筆修正済み)	票数
絵本		どうぶつのおかあさん	小森 厚 / ぶん 数内 正幸 / え	福音館書店	1981	どうぶつのきつねがすき。	
絵本		ともたち	谷川 俊太郎 / 文 和田 誠 / 絵	玉川大学出版部	2002	ないしょばなしをされたらどんなきもちかな。しっばいを笑われたらどんなきもちかな。	
絵本		なぞなぞねずみくん	なかえよしを / 作 上野紀子 / 絵	ポプラ社	2002	なぞなぞがむずかしかった。ねみちゃんがかわいい。	
絵本		ねむいんだもん	福田幸広 / 写真 ゆうきえつこ / 文	そうえん社	2014		2
絵本		のはらひめ おひめさま城のひみつ	なかがわちひろ / 作	徳間書店	1995	これまで読んだおひめさまの本とは違うおもしろさがあり、親子でわくわくして読みました。 女の子がおひめさまになるためにおひめさまじょうという所に行ってドレスがいっぱいあった絵がわたしの心に一番のこりしました。	2
絵本		パオちゃんのかくれんぼ	なかがわみちこ	PHP研究所	1983		
絵本		パオちゃんのたのしいピクニック	なかがわみちこ / さく・え	PHP研究所	1987	ばくばくもぐもぐ「おいしいね」とおべんとうを食べるところがだいすき。	
絵本		ハグくまさん	ニコラス・オールドランド / 作 落合恵子 / 訳	クレヨンハウス	2011	どんなに腹の立つ事が起こっても、ぎゅーっと抱きしめることができるハグくまさん。"許す"ことを教わる本。	
絵本		ババールとおちぴのイザベル	ロラン・ド・ブリュノフ / さく せなあいこ / やく	評論社	2009	5才のたんじょうびのところがおもしろい。	
絵本		パピロちゃんにゆうどうぐも	片山 令子 / 作 久本 直子 / 絵	ポプラ社	2007	ソフトクリームをにゆうにゆうが二つ食べたところがうれしそうでした。	
絵本		「バムとケロ」シリーズ (バムとケロのにちようび)	島田ゆか / 作・絵	文溪堂	1994~		2
絵本		バムとケロのおかいもの	島田 ゆか / 作・絵	文溪堂	1999	こつとう屋でバムが何を買おうか色々悩んでいるシーン面白い。	
絵本		バムとケロのさむいあさ	島田 ゆか / 作・絵	文溪堂	1996	この絵本には、バムとケロ、そしてアヒルのかいちゃんがでてくる。かいちゃんは星を見るのが大好きで、きのう夜遅くまで星を見ていたら...	
絵本		バムとケロのそらのたび	島田 ゆか / 作・絵	文溪堂	1995	組み立てたり、ペンキを塗ったり、虫がたくさん出てきたりするところがおもしろい。	
絵本		バムとケロのにちようび	島田ゆか / 作・絵	文溪堂	1994	むしがくるところがおもしろい。	2
絵本		バムとケロのもりのこや	島田 ゆか / 作・絵	文溪堂	2011	バムとケロが森の小屋で見つけた古い小屋を、秘密の小屋にしようとするお話。絵がとてもおもしろい。絵がすごく素敵。話もおもしろい。何回でも読みたくなり、子どもから大人まで読める。	

種類	表紙	書名	著者	出版社	出版年	おすすめポイント、コメント(加筆修正済み)	票数
絵本		ふしぎなキャンディーやさん	みやにしたつや / 作・絵	金の星社	2007	ふしぎなキャンディーをなめると、すごいことが起こって、例えば、黄色のあめをなめると、大きな岩が持ち上げられてすごい。	
絵本		ふゆのよるのおくりもの	芭蕉 みどり / 作・絵	ポプラ社	1990	もうすぐクリスマス。ふたごのこねずみティモシーとサラは、お父さんとお母さんと一緒にツリーを買ったり、かざりつけをしたり、サンタさんにお手紙書いたり…。絵がとってもかわいい。	
絵本		ブルくとねずみくん	なかえ よしを / 作 上野 紀子 / 絵	ポプラ社	1997	しかけがあるので、ページをめくるのがおもしろい。	
絵本		「へんしん」シリーズ (へんしんトンネル)	あきやまただし / 作・絵	金の星社	2002	変などうくつに入ると、ことばが反対になっておもしろかったです。	
絵本		へんしんトイレ	あきやま ただし / 作・絵	金の星社	2005	ことば遊びがおもしろい。	
絵本		ぼく、仮面ライダーになる！ フォーゼ編	のぶみ / さく	講談社	2011	カードをいっぱい集めたら、好きなものと交換できる約束をお父さんとしていところがあり、我が家もマネをして、がんばって100枚集められるように、いいことを頑張っています。	
絵本		ぼくのおふろ	鈴木 のりたけ / 作・絵	PHP研究所	2010	いろいろのゆめのおふろが出てきます。「このおふろに入りたいなあ」と思いながら読みました。『ぼくのトイレ』もおもしろいです。	
絵本		ぼくのとん	鈴木 のりたけ / 作・絵	PHP研究所	2013	見つけるのが楽しい。	
絵本		ポケモンをさがせ！ダイヤモンド パール	相原和典 / 画	小学館	2008		
絵本		ポケモンをさがせ！プラチナ	山川史郎	小学館	2010		
絵本		またあした	さえぐさ ひろこ / 作 ひろかわ さえこ / 絵	ひさかたチャイルド	2007	けんかをしたのに、「何か忘れてるな」と気づいたきつねちゃんが、来た道に戻って、くまくんに会いにいけます。すごくいい友達なんだと思った。	
絵本		まねまねひるね	北川 チハル / ぶん はせがわ ゆうじ / え	岩崎書店	2010	ねずみがかわいい。	
絵本		まめうし	あきやま ただし / 作・絵	PHP研究所	1997	絵がすき	
絵本		まるまるまるのほん	エルヴェ・テュレ / さく たにかわ しゅんたろう / やく	ポプラ社	2010	一緒に遊びながら読めるところがいい。	
絵本		もったいないばあさん	真珠 まりこ / 作・絵	講談社	2004	いろいろな物を大切にしておばあさんが大好き。	
絵本		ももたろう	いもとようこ	金の星社	2008		

種類	表紙	書名	著者	出版社	出版年	おすすめポイント、コメント(加筆修正済み)	票数
絵本		雪の女王	ハンス・クリスチャン・アンデルセン ／原作 バーナデット・ワッツ／絵 佐々木 田鶴子／訳	西村書店	1999	今大人気の「アナと雪の女王」はこのお話をヒントに作られた そうです。だから、似ているところもあります。絵もきれいでし た。	
絵本		よい子への道	おかべりか／作	福音館書店	1995	してはいけないことをおもしろく書いているところがおすすめ。	
絵本		よるのとしょかん	カズノコハラ／作 石津 ちひろ／訳	光村教育図書	2013	夜になると動物たちがやってきて不思議だなと思った。女の子 とふくろうと一緒に暮らしたり、同じ仕事をしたりするところがお もしろかった。	
絵本		ラプンツェル	グリム兄弟／作 伊藤巨／画 天沼春樹／訳	パロル舎	1996	王子さまが髪の毛をのぼるところや、魔女に見つかってしまう ところが、どきどきしておもしろい。 最終的に髪を切られてしまうので、かわいそうに思いました。	2
絵本		「リサとガスパール」シリーズ (リサとガスパールのクリスマス)	アン・グットマン／ぶん ゲオルグ・ハレンスレーベン／え 石津ちひろ／やく	ブロンズ新社	2000	リサとガスパールの話すことばがおもしろい。	
絵本		リサとガスパール おたんじょうびおめでとう	アン・グットマン／ぶん ゲオルグ・ハレンスレーベン／え 石津 ちひろ／やく	ブロンズ新社	2011	チョコ食べたところ。	
絵本		わがはいはのつぼぼう	富安 陽子／文 飯野 和好／絵	童心社	2011	登場人物の「あーる」がすき。	
絵本		わんぱくだんのたからじま	ゆきのゆみこ／作 上野与志／作	ひさかたチャイルド	1992	せまいところに弱いけん、穴の中に落ちてしまい、すっかり青 い顔になるところがおもしろい。	
読み物		いつか、眠りにつく日	いぬじゆん／著	スターツ出版	2014	交通事故にあった主人公が、天国に旅立つ前に、残された短 い時間の中でやり残したことやります。友達に会えてうれしい けれども、最後は一人になるかと思うと少し悲しい。	
読み物		有頂天家族	森見 登美彦／著	幻冬舎	2007	人に化けるタヌキの名門、下鴨家の四兄弟と、彼らが師事する 天邪鬼で傲慢な天狗と、洛中でうごごする人間の三つ巴が、 京都を舞台に実に面白く描かれている。そんな『毛玉ファンタ ジー』ながら下鴨一家の偉大な亡き父と偉大な母と四兄弟の 家族愛が素晴らしい。	
読み物		おばあさんのひこうき	佐藤さとる／著	小峰書店	1979	ちょうちょうの柄のあみものが勝手に動くところが、びっくりしま した。	
読み物		おばけのはつこい	むらい かよ／著	ポプラ社	2011	ルーナが遊んでいるところがおもしろかった。	
読み物		おばけのひみつしちやった!?	むらいかよ／著	ポプラ社	2014	リータは占いができるからすごい。	
読み物		おひさまのテーブルクロス	茂市 久美子／作 よしざわ けいこ／絵	講談社	2012	「もっているとうれしくなる、すてきなものばかり」を集めたお店 「おひさまや」。営んでいるのはいびきのうさぎ。なやみごとを かかえていると、いつの間にか目の前にあらわれる。こんなお 店に行ってみた。	
読み物		おひめさままいごになる	まだらめ 三保／さく 国井 節／え	ポプラ社	2003	おひめさまがまいごになって、まいごランドをつくったのがおも しろかった。	
読み物		陰陽師 (文春文庫)	夢枕 獯／著	文芸春秋	1988	凄腕の陰陽師、安倍清明と楽の名人、源博雅に連れられて、 平安の間へ、ようこそ。	

種類	表紙	書名	著者	出版社	出版年	おすすめポイント、コメント(加筆修正済み)	票数
読み物		「かいけつゾロリ」シリーズ (『かいけつゾロリのチョコレートじょう』)	原 ゆたか / さく・え	ポプラ社	1987～	ゾロリがイシシ、ノシシといろいろな冒険をしていく本。『かいけつゾロリのチョコレートじょう』が一番すき。	2
読み物		かいけつゾロリのきょうふのカーレース	原ゆたか	ポプラ社	1997		
読み物		かいけつゾロリのじごくりょこう	原ゆたか / さく・え	ポプラ社	2002	いろいろな地獄でゾロリたちがおならをしているところがおもしろかった。	
読み物		かいけつゾロリの大きいぞく	原ゆたか	ポプラ社	1989	ゾロリがたびをしていると中にいろいろな出来事がおこっておもしろいです。ぜひよんでみてください。	
読み物		「怪談レストラン」シリーズ	かとう くみこ [他] / 絵	童心社	1996～	シリーズになっていていろいろな本の案内人がおもしろい話をしてくれる。豆知識などもっているのでもおもしろい。	
読み物		かえってきた名探偵	杉山 亮 / 作 中川 大輔 / 絵	偕成社	2004	青いブランコ事件がおもしろい。	
読み物		「カボちゃん」シリーズ (ゆうやけカボちゃん)	高山栄子 / さく 武田美穂 / え	理論社	2000	かぼちゃんの走るところが楽しかった。	
読み物		キノの旅 the Beautiful World (1～17)	時雨沢 恵一 / [著]	株式会社 KADOKAWA アスキー・メディア ワークス	2000～	主人公キノと、相棒モトロードのエルメスとの旅のお話。旅の中で訪れる様々な法律や文化をもった国々が、時にコミカルに時にシリアスに書かれていてとてもおもしろい。ほとんど1話完結の短編集で読みやすい。	
読み物		「黒魔女さんが通る」シリーズ (チョコ、デビューするの巻)	石崎 洋司 / 作	講談社	2005	チョコがギュービッドに教えてもらいながら魔女になっていくところがおもしろい。	
読み物		黒魔女の騎士ギューバッド	石崎 洋司 / 作, 藤田 香 / 絵	講談社	2014	勉強はできない、言葉も汚ないギューバッドだけど、人一倍友達思いで、メリューヌが泣いていたときに、なぐさめたので感動した。	
読み物		桜ノ雨	halosy / 原作・原案 藤田 遼 / 著 スタジオ・ハードデラックス / 著	PHP研究所	2012	一年生の鈴たちが合唱部に入り歌って目標まで頑張っていくところがおもしろい。恋愛の場面もあり、ドキドキする。また、物語の最後はすごく感動する。	
読み物		「ざわざわ森のがんこちゃん」シリーズ (あたらしいおともだち)	末吉 暁子	講談社	1997～		
読み物		十字架	重松 清 / 著	講談社	2009	「いじめを苦に自殺した一人の少年」の周囲にいた人々がどのように死と生を背負っていくかを、重松清独特の丁寧な心理描写でつづられたお話。どんだん話に引き込まれ、途中でやめられなくなる。	
読み物		囚人と紙飛行機 一少女アポリアー	猫ノ眠@囚人P / 著	PHP研究所	2012	ボカロ曲「囚人」と「紙飛行機」が小説化。病気で入院している少女ルリと柵の向こうの彼との甘く切ない恋物語。	
読み物		少女不十分	西尾 維新 / 著	講談社	2011	大人と子ども、他人の二人が徐々に打ち解けていく。子どもの「きまり」の本が見つかったクライマックスシーンが泣ける。おもしろくて少し泣ける話。	
読み物		小説仮面ライダーディケイド ～門矢士の世界～レンズの中の箱庭～	石ノ森 章太郎 / 原作 鐘弘 垂樹 / 著 井上 敏樹 / 監修	講談社	2013	仮面ライダーはカッコいいだけでなく正義と悪との間での葛藤があり、それに苦しみながら戦っているのです。仮面ライダーは戦闘マシンではないということがよくわかる一冊。	

種類	表紙	書名	著者	出版社	出版年	おすすめポイント、コメント(加筆修正済み)	票数
読み物		吹部!	赤澤 竜也 / 著	飛鳥新社	2013	崩壊寸前の吹奏楽部に新しい顧問の先生が来て、徐々に部員の気持ちが変わり、全国大会を目指す青春物語。それぞれの登場人物の視点から物語が描かれているため、いろいろな人の気持ちになれておもしろい。	
読み物		スターティング・オーヴァー	三秋 維 / [著]	株式会社 KADOKAWA アスキー・メディア ワークス	2013	過去に何も後悔がなく、自分の人生に満足していた主人公が朝起きたら10年前に巻き戻されてしまった話。主人公は2周目の人生を、過去と同じように再現しようとするが、1周目のツケを払わされるように落ちぶれてしまう。しかし、自分の時間が巻き戻された理由を知って、彼が人生をやり直すところがおすすめ。	
読み物		精霊の守り人	上橋 菜穂子 / 作 二木 真希子 / 絵	偕成社	1996	女ながら腕のたつ用心棒であるバルサが不思議な運命を背負われていた。新ゴゴ皇国の皇子チャグムの命を救う...というお話。私の好きな登場人物は「タンダ」です。	
読み物		ソードアート・オンライン(1~14)	川原 礫 / [著]	株式会社 KADOKAWA アスキー・メディア ワークス	2009~	近未来に新しいゲームが発売されそのゲームの中に閉じ込められた主人公が戦う話。イラストはもちろん、戦闘描写もよく、とてもおもしろい。	
読み物		ぞくぞく村ののっぺらぼうペラさん	末吉暁子 / 作 垂石真子 / 絵	あかね書房	2009	のっぺらぼうのペラさんがレストランでやさしくしていたところがよかった。	
読み物		たんぼぼ	丘修三 / 作 長野ヒデ子 / 絵	小峰書店	2003	この本の中の「九官鳥」というお話には、おばあちゃんと女の子、鳥が出てきます。ある日、おばあちゃんが引越すことになり、その鳥を女の子にあげます。その鳥が女の子に話した言葉は...。そこがとても感動します。	
読み物		通学記 ~ 君は僕の傍にいる~	みゆ / 著	集英社	2012	主人公の美雪が映画研究会の部屋で見つけた一つのパソコン。その画面には一人の男の子が立っていた。ツナと呼ぶようになった美雪との関係がおもしろい。	
読み物		とある魔術の禁書目録 (インデックス) (1~22)	鎌池 和馬 / [著]	株式会社 KADOKAWA アスキー・メディア ワークス	2004~	東京の3分の1を占める超能力者開発機関「学園都市」。そこに住む学生の無能力者、上条当麻は毎日不幸な日々を送りながらも、時には戦い、時には傷つき、問題を解決していく。	
読み物		歳三往きてまた	秋山 香乃 / 著	文芸社	2002	新撰組や幕末が好きな方におすすめの一冊。始めから終わりまで暗く哀しい作品ですが、土方、近藤をはじめとしたたくさんの方々の魅力が詰まった作品。先に、『新撰組藤堂平助』を読むものおすすめ。	
読み物		どうにかしたい	黒野 伸一 / 作	理論社	2010	本当にあるような話だったので、読んでみると、自分までできどきした。特に万引きしたところの話がよかった。	
読み物		図書館戦争	有川 浩 / 著 徒花 スクモ / イラスト	株式会社 KADOKAWA アスキー・メディア ワークス	2006	登場人物がみんな素敵! 会話がコントミたいでおもしろい!! 脚が自慢の感情でつづける主人公と、情報集めが趣味の寮の同室者との会話が特におもしろい。読み出したら止まらない。	
読み物		泣いちゃいそうだよ	小林深雪 / 作 牧村久美 / 絵	講談社	2006	親友の友情がすてきなと思います。	
読み物		ながれ星のひみつ かいぞくポケット	寺村輝夫 / 作 永井郁子 / 絵	あかね書房	1998	アイコが「ポケットケポットトツポケット」というと何か不思議なことが起こるからおもしろい。	
読み物		ねこのかんづめ	北ふうこ / 作 鴨下潤 / 絵	学研教育出版	2013	かんづめからねこが出てきておもしろかった。	
読み物		バカとテストと召喚獣(1~12)	井上 堅二 / 著	株式会社 KADOKAWA エンターブレイン	2007~	思い切り笑いとばしたい時などにおすすめ。「世の中勉強だけじゃない」と感じさせてくれる。	
読み物		ヒップ☆ホップにへこましたい なにわのへこまし隊依頼ファイル	東 多江子 / 作 いのうえ たかこ / 絵	講談社	2006	だれかさんのせいで悩んだり、困ったりしていることを手紙で伝えると、解決してくれる「へこましたい」。おもしろおかしく解決してくれるところがおもしろかった。	

種類	表紙	書名	著者	出版社	出版年	おすすめポイント、コメント(加筆修正済み)	票数
読み物		ファンム・アレース(1~6)	香月 日輪 / [著]	講談社	2006~	ファンタジーと少しの恋愛が楽しめるシリーズもの。魔術をはね返す三つ目を持つといわれる剣豪バビロン。ある日、“契約の魔術”を交わしてしまう。その相手は10歳の少女!?バビロンと少女の旅が始まる。	
読み物		ふしぎ駄菓子屋銭天堂(1, 2)	広嶋 玲子 / 作 jyajya / 絵	借成社	2013~	幸運な人だけが見つけられるふしぎな駄菓子屋“銭天堂”ではおかみの紅子さんが、ふしぎな駄菓子を安い値段で売ってくれる。	
読み物		舟を編む	三浦しをん / 著	光文社	2011	とある出版社で、辞典を作るまでの長い物語。	
読み物		フラッガーの方程式 = Flagger's Equation	浅倉 秋成 / 著	講談社	2013	見事に整合性が取れていて、伏線が爽快につながった。序盤のギャグから終盤のシリアスへの展開では手が止まらない。前作の『ノワール・レヴナント』もオススメ。	
読み物		フリーター、家を買う	有川 浩 / 著	幻冬舎	2009	最初はろくでなしだった主人公が、母親が病気になることを知って、一念発起してきつい土木のバイトを一年近く続けながら、就活していたので、とてもすごいと思った。	
読み物		ぼくは満員電車で原爆を浴びた	米澤鐵志 / 語り 由井りょう子 / 文	小学館	2013	11歳の男の子がピカドンにあって一人になっても、生き続けたところがいいと思いました。	
読み物		都会(まち)のトム&ソーヤ(1~11)	はやみね かおる / [著]	講談社	2003~	はやみねかおるさんの本の書き方がとってもおもしろい。	
読み物		マリア探偵社魔界ハロウイン	川北亮司 / 作 大井知美 / 画	岩崎書店	2012	謎を解こうとするのに、色々大変なお話で、謎を解くのが遅くなるところがおもしろい。でも、最後に謎が解けるときはカッコいい。	
読み物		もりのはいしゃさん	ふなざき やすこ / さく ふなざき よしひこ / え	借成社	1983		
読み物		妖精めがねさしあげます	日本児童文学者協会 / 編 カタノ トモコ / 絵 川野 郁代 / 絵	借成社	2011	魔女、妖精が登場する七つのお話がおもしろかった。不思議なところがよかった。	
読み物		夜が運ばれてくるまでに	時雨沢 恵一 / 文 黒星 紅白 / 絵	株式会社 KADOKAWA アスキー・メディア ワークス	2010	一冊に詰め込まれた詩はとても深く考えさせられるものばかりですが、ページを開くたびにほんわかとした気分になります。	
読み物		らくだいにんじやらんたろう	尼子騒兵衛 / 作・絵	ポプラ社	1991	忍者の戦うところがおもしろい。	
読み物		「らくだい魔女」シリーズ (らくだい魔女はプリンセス)	成田サトコ / 作 千野えなが / 絵	ポプラ社	2006~	人物が話し合っているところがおもしろい。また、いろんなところに冒険しているような気分になるからおもしろい。	
読み物		ラン	森 絵都 / 作	講談社	2014	悩んだときや、難しいことがあったときにこの本を読むと、自分の悩み事がとても小さく思えてきて何てことないように思えます。人生は広いです。	
読み物		流星の絆	東野 圭吾 / 著	講談社	2008	ミステリーですが、コミカルな部分や感動する場面もあり、読んでいてとても楽しい本。義理の兄であるにも関わらず妹や弟を支えるなど、兄弟の絆も感じられる作品。	
読み物		ルルとララのおしゃれクッキー	あんびる やすこ / 作・絵	岩崎書店	2005	クッキーの木が実はうそで、はらはらしたけど、クッキーおばさんがきて、いっしょにクッキーを作って、木につけると、動物たちが笑顔になったところがよかった。	

種類	表紙	書名	著者	出版社	出版年	おすすめポイント、コメント(加筆修正済み)	票数
読み物		ルルとララのしらたまデザート	あんびる やすこ / 作・絵	岩崎書店	2012	デザートの中になんかいろいろ入っているのがおもしろい。	
読み物		「ルルとララ」シリーズ (ルルとララのカップケーキ)	あんびるやすこ	岩崎書店	2005～	おかしをつくる場所。たのしくつくれるから。 ルルとララがいっしょけんめいおかしづくりをするところがいいとおもいます。ルルとララがつくったレシピも本にのっているのでぜひひつくてみてください。	3
外国の読み物		エルマーのぼうけん	ルース・スタイルス・ガネット / さく わたなべしげお / やく	福音館書店	1980	子どもの頃にとってもわくわくしながら読んだ印象深い本です。	
外国の読み物		子供部屋のアリス	ルイス・キャロル / 作 ジョン・テニエル / 絵 高橋 康也・高橋 迪 / 訳	新書館	2003	不思議の国のアリスを4分の1の長さにして書き直した本で、長さ的にも読みやすく、個性的な絵がかわいい。	
外国の読み物		三千と一羽がうたう卵の歌	ジョイ・カウリー / 著 杉田七重 / 訳	さ・え・ら書房	2014	ジョシュのペットはことばを話すメンドリのセモリナです。でもセモリナはジョシュの前でしかしゃべらないのでだれも信じてくれません。セモリナがうっかりジョシュの友だちの前でしゃべってしまうところが、おもしろかったです。	
外国の読み物		十五少年漂流記	ジュール＝ベルヌ / [著] 那須 辰造 / 訳 金 斗鉉 / 絵	講談社	1990	仲があまりよくないブリアンとドノヴァンも一緒になって、ときどきけんかしながらも、色々な危機を乗り越えるときどきわくわくするお話。少し長いけどとってもおもしろいので、ぜひ読んでください。	
外国の読み物		小公女	フランシス・ホジソン・パーネット / 作 高樓方子 / 訳	福音館書店	2011	セーラが最初お金持ちだったのが、貧乏になって、それからまたお金持ちになるところがおもしろい。	
外国の読み物		ハリー・ポッターと秘密の部屋	J. K. ローリング / 作 松岡 佑子 / 訳 ダン・シュレジンジャー / 画家	静山社	2000	呪文が印象的。	
外国の読み物		「マジック・ツリーハウス」シリーズ (恐竜の谷の大冒険)	メアリー・ポープ・オズボーン / 著 食野雅子 / 訳	メディアファクトリー	2002	いろんな国へ行って冒険して、迫力があっておもしろい。	3
外国の読み物		ミリー・モリー・マンデーのおはなし	ジョイス・L・プリスリー / さく 上条 由美子 / やく 菊池 恭子 / え	福音館書店	1991	はりねずみの出るお話が楽しい。	
外国の読み物		ランプの精リトル・ジーニー	ミランダ・ジョーンズ / 作 宮坂宏美 / 訳	ポプラ社	2005	リトル・ジーニーはジーニー・スクールを追い出されたランプの精なので、魔法を間違えたり…魔法があまり上手ではないジーニーのお話。	
外国の読み物		ロンドンのゴースト	メアリー・ポープ・オズボーン / 著 食野 雅子 / 訳	メディアファクトリー	2011	この本に出てくるジャックとアニーがかわいくて、この本に出てきてくれてうれしい。	
知識の本		おかあさんのそばがすき 犬が教えてくれた大切なこと	今西乃子 / 著 浜田一男 / 写真	金の星社	2013	「りっぱなせい犬になったのにぼくはおかあさんの子どものまま、おかあさんはずっとおかあさんのまま」という言葉がおもしろかったです。	
知識の本		ぴよこたんのおばけめいろ2	このみひかる / 作・絵	あかね書房	1988	おばけがおもしろかった。	
知識の本		うちの3姉妹	松本ぷりっつ / 著	主婦の友社	2006	フー、スー、チーの3姉妹がそれぞれに色んな趣味や個性をもっていて、どんな人でも読みやすくいつでも笑顔になれる。	
知識の本		名探偵コナン理科ファイル 力と動きの秘密	青山 剛昌 / 原作 ガリレオ工房 / 監修 金井 正幸 / まんが	小学館	2011	勉強がわかりやすかった。	

種類	表紙	書名	著者	出版社	出版年	おすすめポイント、コメント(加筆修正済み)	票数
知識の本		恐竜なんでも事典		集英社	1993	恐竜の基礎が知ることができてよかった。研究の歴史も知れてよかった。	2
知識の本		憧れのゴージャスチョコレシピ	木村 幸子 / 著	主婦の友インフォス情報社	2014	おいしそうで専門的なチョコレートがレシピ付きでどんどん出てきます。作らなくても、見るだけでもおながすいてきて幸せな気分になります。チョコレート好きの人にすすめ!	
知識の本		日本史	宮地 正人 / 編	山川出版社	2008	昔の日本についてたくさん知れる本。	
知識の本		ビジュアル戦国英雄伝 1 (織田信長)	河合 敦 / 監修	学研教育出版	2011	織田信長の一生が、まんがで詳しく書いてあったので、読みやすかった。	
知識の本		「大きなずかんはたらくじどう車」のシリーズ	元浦年康 / 監修	学研教育出版	2013	1歳の子どもが好きで何度も借りています。写真も大きくてキレイで本格的で1歳児も大変気に入っています。出先でこの本を広げて読んでみると「いい本読んでるね～」とほめられます。今後もリビ借りしたいです。	
知識の本		日本一周! 鉄道大百科	山崎 友也 / 監修	成美堂出版	2012	アンパンマンの列車が載っているところ。	
知識の本		きょうりゅうの本	真鍋 真 / 監修	講談社	2012		
知識の本		昆虫(小学館の図鑑NEO)	小池 啓一 / [ほか]指導・執筆	小学館	2002	卵からカブトムシが大きくなっていくところが見られておもしろかった。	
漫画		ONE PIECE(1~74)	尾田 栄一郎 / 著	集英社	1997~	ルフィが海賊王を目指しているからおもしろい。	
漫画		弱虫ペダル (C)渡辺航(週刊少年チャンピオン)	渡辺 航 / 著	秋田書店	2008~	巻島先輩の特徴の言葉や行動がイケメン。	
漫画		サンブンノイチ(1, 2)	木下 半太 / 著 前田 治郎 / イラスト	KADOKAWA	2014	いろいろな人とのかけひきがハラハラ、ドキドキします。個性豊かなキャラもたくさんいます。	
漫画		ドカベン(1~21) ©水島新司(秋田書店)	水島 新司 / 著	秋田書店	1989~	山田が何回もホームランを打つところがよかった。	
漫画		ドラえもん	藤子・F・不二雄 / 著	小学館	1983~	いつも違う道具が出てくるところ! ぜんぶドラえもんにたよるのび太がおもしろかった。	2
漫画		あたしんち(1~19)	けら えいこ / 著	メディアファクトリー	1995~	友達や、みかんのお母さんの妙な行動がおもしろい!	
漫画		サザエさん	長谷川町子	朝日新聞社	1994~	だい1かんでさいしょの自こしょうかいのときにお母さんが「サザエ〜サザエ〜」と言って出てきたサザエさんがおでんをたべながらきたこととお母さんにおこられた。	